

郡は俗に中郡なかつくと稱し巨商豪賈多く三府を初め全國要地に支店を有するもの殆ど千に餘れり所謂近江商人是れなり北郡には養蠶製絲を業とするもの多し物産は長濱縮緬、信樂茶、晒布、鮎、鱒等なり

大津 縣下第一の市街にして滋賀縣廳所在の地なり京都を去る三里弱東海道鐵道の馬場、大谷兩停車場あり又京都間には疏水運河の通船あり湖上亦舟楫の便多し大湖漁船會社、湖南漁船會社等あり縣下各浦を往復す當地は山に據り湖に沿ひ最も風色に富む近傍探遊す可きの勝地多し名物は大津繪、鮎、湖魚の時雨煮等なり

琵琶湖 日本第一の大湖なり東西五里廿六丁餘南北十六里半周廻凡六十里面積八十餘方里あり其形琵琶に似たるを以て名く湖中水産に富む鯉、鱒、鮎を最とす源五郎鮎最も著名なりヒガイ魚は長き御邊みぎへの御膳みけに上るを以て其名亦高し湖上の風景は天下の絶勝なり石

山秋月、瀨田夕照、粟津晴嵐、矢橋歸帆、三井晚鐘、唐崎夜雨、堅田落雁、比良暮雪是れを近江八景といふ明應年中近衛政家父子が支那洞庭湖八勝に擬し和歌を咏せしに始まり夙に人口に膾炙すれども固より其全景の十が一を盡したるものにあらざるなり

三井寺 天台宗寺門派本山なり大津別所に在り當寺は往古大友皇子の莊園たりしを以て園城寺といひ又天智天武持統の三帝降誕の産湯に供せし井泉あるを以て御井寺ともいへり大友與多王弘仁帝の願命を受けて建立する所なり天安年中智證大師之を三井寺と改む貞觀年中勅して之を智證大師に賜ふ金堂を奥の院といひ彌勒佛を安す三帝産湯の水を三井の水といひ井上に屋根あり其四方に飛龍を畫けり狩野元信の筆なり古鐘堂の鐘を辨慶の鐘といふ又辨慶の汁鍋あり樓門あり安置する所の金剛像は運慶の作なり三層塔は

智證大師廟の傍に在り大和比羅寺にありしを豊臣秀吉之を伏見城に移し徳川氏之を當寺に寄附したり三井寺觀音は後三條帝の勅願にて延久四年に草創す堂は山腹に在りて本尊は智證大師の作なり此邊琵琶湖を一瞰し風色殊に絶勝なり名物の辨慶餅あり圓満院は維新前までは法親王相承の殿舎にして什寶の古物古經甚だ多し殊に圓山應舉の筆蹟數十幅あり就中畢生の心力を盡したる七難七福の圖は實に古今の逸品なり

高觀音 長等山腹に在り櫻樹楓葉多し眺望佳絶なり

義仲寺 大津馬場村に在り木曾義仲の墓あり又芭蕉塚あり芭蕉翁を葬る碑銘は門人其角の誌す所なり此村内に翁の遺物多し

粟津夕原 大津より膳所を経て石山に至る湖邊の道なり近江八景の一にして粟津晴嵐是れなり

瀬田橋 在昔忍性律師唐製に模倣して此橋を造れるより唐橋の名を得たり大小二橋あり大橋九十六間小橋廿七間兩橋の間を中島といふ橋上の眺矚は絶勝にして近江八景の一なり

石山寺 眞言宗別格本山、聖武帝の勅願所にて天平勝寶元年良辨僧正の開創する所なり本尊如意輪觀音は有名なる靈佛なり本堂は慶長年中豊臣秀頼の生母淀君禮堂を増築したることあり源氏間は紫式部が源氏物語を著せし處にして鐘樓の鐘は源頼朝の寄附なり大門は古造にして建久年中源頼朝之を修補し慶長年中豊臣秀吉之を修繕したる事あり安ずる所の二王は運慶湛慶の作なりといふ境内に良辨僧正の枝櫻あり奈良の八重櫻を移し植ゑたるなり什寶數百點就中著名なるは紫式部の硯、同自筆の大般若經數卷、同源氏物語等なり當寺は古來觀月を以て名あり近江八景の一なり又盛

狩を以て宇治と共に雅俗の賞する所たり

唐崎の松 大津の北一里餘老松あり世に一ツ松といふ幹の周圍二丈五尺餘高七間翠蓋は天を蔽ひ枝葉八方に繁茂し南北三十間東西廿七間に亘れり深夜に露を雨らす故に唐崎の夜雨といひ近江八景の一に算へらる松は元と天智帝の宸裁なりしが今の松は天正十九年新莊直頼が豊臣秀吉の命により植繼ぎたるものに係れり松下に祠あり唐崎神社といふ例祭は六月廿八日より三日間御手洗祭といふ

比叡山

日枝又は比江といひしが傳教大師延曆寺を創立せしより歴朝の叡信淺からざるを以て比叡と改むと又一説には傳教大師と桓武天皇と心を一にし興隆ありし故に比叡と名くと平安城の東北に當るを以て長峰とも號せり最高の處を四明嶽といひ其他東塔、

西塔、横川、無動寺谷の諸嶺ありて西塔は京都府下に屬せり四明嶽は直立千八百五十尺京都數萬の戸は風煙の中に隱見し琵琶湖又た一葦帶水の如く往來の船舶は木葉の波に點するに似たり之に登るものをして羽化登仙の思あらしむ

延曆寺

天台宗の本山なり延曆四年傳教大師叡山に登り草舎を結び法華金光明等の諸大乘を讀み乃ち大願を發す同七年山頂に一字を創立し比江山寺と號し後ち一乘止觀院と改む根本中堂是れなり歴朝の御信崇淺からず行幸啓の數枚擧するに違わらず後醍醐帝の行宮となりたるは世の知る所なれば茲に贅せず中古寺運の隆盛なりしや叡山三千坊と稱し寺領廣大にして殿堂伽藍の莊嚴宏麗なりしとは今尙想見するに餘あり惜むらくは元龜の亂織田信長の爲めに此の本邦無双の一大名刹を烏有に歸せしめたることを然れども

今尙ほ巨刹たるを失はず東塔には根本中堂本尊薬師佛 傳教大師作戒壇堂、文殊樓、大講堂、淨土院傳教大師の廟山王院智證大師の本房前唐院慈覺大師の廟文殊樓、千手堂、大學林等あり又辨慶水あり之を千手井といふ辨慶西塔に在りし時千日間千手堂に日參して此水を汲みたりし故に名くと西塔には法華堂、常行堂、釋迦堂、椿堂、寶幢院、相輪檜俗に鬼門柱といふ高四丈五尺九層にして十一の寶鏤を懸く青龍寺俗に元黒谷といふ法然上人の舊跡等あり横川は楞嚴院と號す中堂元三大師廟、四季講堂、大師堂、觀音堂、慈忍和尚廟、飯室不動安樂院 惠心僧都の住房なり寺前に菩提樹あり宋の僧知微の贈る所にて曾都之を裁ゆ元龜の兵火に枯滅せしが十有九年を経て枝葉再生し山門亦再興せり等あり又香芳谷には日蓮上人の舊跡あり無動寺谷は南嶺なり不動堂、大乘院あり大乘院は慈鎮和尚の住みたる所にして親鸞上人の舊跡なり當院は山中の絶景第一たり辨才天あり親鸞上人の影向石あり其他當山の名勝少なからずと雖も紙數限りあるを以て之を略す大

津より凡二里半餘

日吉神社 官幣大社、比叡山の東麓に在り祭神は大山咋神なり例祭は四月十四日より十五日に亘れる有名の大祭にて世に山王祭又は日吉祭といひ俗に血を見ざれば渡御せずといふ荒祭なり延暦年に始まり嵯峨帝の御宇に至り祭備全く備はりたる古祭なり神興七基あり壯觀無双と稱す大社より大鳥居の間を大馬場といひ櫻樹楓葉多し社前の碧溪を大宮溪といふ三大石橋あり何れも天正年中豊臣秀吉の架設する所に係れりけいせんろうたう躰畔老楓あり高秋紅ちうもを染むれば雅俗多く來賞す

西教寺 天台宗眞盛眞盛派本山なり日吉神社より北八九丁文明年中僧

眞盛の開基なり本尊薬師佛は洛東法勝寺に在りしを移したるものなりと境内に明智光秀の墓及び其陣鉦あり

來迎寺

唐崎の北十餘丁天台宗に屬せり當寺什寶に富むを以て有

名なり就中十界圖の内六道十二幅巨勢金剛筆は古今無双と稱し其他十

二天十二幅高階隆經筆十六羅漢十六幅鏡舞經筆釋迦文珠普賢思恭筆楊柳觀音全

紅衣の釋迦吳道子筆十六善神巨勢金剛筆等を重なるものとし數百點の多きに

及べり境内に森三左衛門可成の墓あり

堅田淨御堂

一條帝の御宇惠心僧都の創立なり往古は千躰佛堂と

いひ又海門山滿月寺と號す琵琶湖厓に斗出すると十四間餘近江入

景の一なり大津より北五里に在り

白鬚神社

祭神は猿田彦命にして垂仁帝二十七年の創立なり湖上

に斗出する一丁餘の地を明神岬あきしんさき又は五位崎といひ青松白砂相映帶

す堅田より北四里餘

比良山

最高嶺を蓬萊山ほうらいといふ直立三千百六十尺山嶺は寒冷にし

て樹木なく茅篠叢生す冬春は滿峰雪に埋れ銀光湖上に映す所謂比良の暮雪是れなり

草津

大津より東四里、關西鐵道の伊勢より來りて東海道鐵道に

聯絡するの處なり又大津より日々十數回湖上漁船の往復あり名物

に竹鞭たけむち及び姥ヶ餅おばもちあり

三上山

俗に百足山ひゃくあしといひ又其形の富士に似たるを以て近江富士

といふ琵琶湖上の奇觀なり

錦織寺

眞宗一派の本山にして世に木部きべの錦織寺といふ野洲停車

場より近し當寺は天安年中の草創にて天安堂と號せしが嘉禎年中

親鸞上人常陸國霞ヶ浦かすみにて獲たる一尺八寸の阿彌陀如來を其笈あしに

負ひ京都に歸らんとして天安堂の前に露宿ろじゆくし靈夢に感じ其佛像を

堂中に安して念佛道場となせり後ち四條帝より天神護法錦織之寺

の勅額を賜ふそれより錦織寺と號せり

長命寺 西國巡禮三十一番の札所なり聖德太子作の觀世音を本尊とす山上の風色絶奇にして大湖を一望の下に收む江州勝區の隨一たり

永源寺 四應國師の開基にて臨濟派の本山にして有名の巨刹なり寺は山腹に在りて東麓は愛知川の上流に位し滿山楓樹多く寺觀樓閣は錦雲紅霞の中に隱見し風色の絶佳なる山城の高雄、攝州の築面と伯仲の間に在り此地に遊ばんとするものは八幡停車場を下り八日市を経て車行す可し

多賀神社 官幣中社、諸冊の二尊を祭れり世に有名なる大社なり命乞の神又は壽命を司どり玉ふの神なりとて遠近より參詣するもの多し彦根より高宮を経て二里餘

彦根 井伊氏の舊城下三十五萬石なり彦根城は之を金龜城といひ慶長

年中の建築なり天主樓は京極高次の大津城より西城三層樓は淺井長政の小谷城より天秤樓門は長濱城豊臣秀吉之を築くより移したるものにて皇宮附屬地たり井伊伯爵拜借して修理保存せり城山には諸國の名奔を築めて樹竹鬱蒼たり湖山の眺望最も快絶城北に樂々園あり井伊氏の舊別邸なり山を負ひ湖に面し有名なる庭園なり

竹生島 湖上の一島なり周廻一里島上は樹木森々として怪岩奇石の屹立するあり湖光山色四方を環りて實に稀世の絶景なり大津より十六里、長濱、今津、鹽津より各三里

都久夫須麻神社 島中に鎮座す祭神は淺井姬命にて社殿は伏見桃山御殿を豊臣秀頼の寄附したるものにて結構壯麗なり

寶巖寺 竹生島中の一刹なり本尊二軀あり一は有名なる辨財天に

して日本三辨天の一なり一は觀世音にして西國三十三番札所の一なり

餘吾湖

木本停車場

敷賀

より一里、餘吳又は餘古に作る南北十八

町東西十二町あり湖山の風色絶勝なり賤ヶ嶽の古戰場は其西に在り吊古の士一遊せば轉々今昔の感に堪えざるものあらん

●岐阜縣

美濃飛驒二國を管せり縣廳は岐阜に在り東海道鐵道は近江より來り尾張に至りて全國を貫通せり地勢は東北西の三方は山岳縹繞し中央及西南は平原多く膏腴にして五穀皆宜し物産は美濃紙、養老酒、蜂蜜柿、甜瓜、蠟石、縮緬、良材等なり

岐阜市

稻葉山の西麓に在りて長良川に臨み各務野を擁し街衢整

然として閑雅清麗なり貝原益軒其の木曾路の記に岐阜の風水平安

城に似たりと言へり當時猶然り況や今日に於ておや戸數六千餘人

口三萬餘あり岐阜縣廳所在の地にして縣下第一の都會なり物産は

岐阜提灯を最とし鮎鮓、枝柿、團扇、陶器、刃物等なり

稻葉山

一名を金華山といふ岐阜市街の東一里有餘の間六曲の翠

屏を引廻したるが如く山色秀麗畫くに似たり織田氏の古城址あり

南麓に笹ヶ谷梅林あり

岐阜公園

稻葉山麓に沿ふて公園あり園内一の俱樂部を萬松館と

いふ又物品陳列場あり縣下の物産を蒐集觀覽せしむ

長良川の鵜飼

古來有名なる長良川の鵜飼は毎年五月上旬に始ま

り九月中旬に終る松火簇々五艘乃至七艘の漁舸を一隊となし急流

を下りて數十羽の鵜を放つて鮎を捕らしむ進退捷縱自由自在其快

いふ可らず常に明を避けて暗に就かざる可からざるを以て毎月上

陸の夜は月の入るを待ち下弦の夜は月の出でさるに先だちて之を行ふ實に海内無双の壯觀なり

大垣町 戸田氏の舊城下にして岐阜に亞くの市街なり戸數四千人口二萬あり繁昌なる一都會なり

養老の瀧 有名なる瀑布にして養老山中に在り大垣より三里垂井より赴くも可なり瀧の高九丈二尺巾二間許一條懸下して瀑潭に投ず其觀極めて壯なり三伏に暑を忘るゝはいふを要せず山中に櫻楓多く春の花秋の錦又一層の佳趣を添ふ今は公園地たり養老公園といふ

南宮神社 國幣中社、祭神は金山毘古命なり垂井より南十二丁に在り神武帝元年當國府中に鎮座し崇神帝五年當地に遷坐せり壬申の亂天武帝行幸の事あり又平將門及阿部貞任の亂に之に祈りて靈

驗ありしと傳ふ後ち慶長五年關ヶ原の役に兵燹に罹り寛永十年三代將軍家光再び之を造營せり例祭は舊曆三月三日にして盛大なる祭儀なり

關ヶ原古戰場 關ヶ原村の近傍一里餘に亘れる原野を關ヶ原又は不破野といふ有名なる古戰場なり滿目凄凉原頭諸所に兩軍陣營の跡を存せり

● 愛 知 縣

尾張三河二ヶ國を管せり縣廳は名古屋に在り東海道は東西に貫通し三河より來り伊勢に入る縣道は名古屋を中心として縱横に通ぜり鐵道は東海道鐵道三河より來り大府に於て武豊支線と合し來りて美濃に入り關西鐵道も亦行々桑名より來りて名古屋に通ぜんとす海上には武豊、半田、熱田の諸港あり水陸運輸の便多し全國土地膏腴にして

五穀百菓に適す物産は瀬戸焼、七寶焼、鳴海絞、蘿蔔、扇、名古屋織等なり

名古屋市 東海道第一の都會にして夙に小江戸の稱あり東西一里十九丁南北一里十五丁戸數四萬五千人口十八萬餘愛知縣廳所在地なり天文年間織田氏の城邑となり慶長十五年徳川家康其子義直を此地に封じて大に城廓を築きしより漸次繁盛に赴き今や殆ど三都を凌ぐんとするに至れり西は清洲より東は熱田に至るまで凡三里の間は連櫓櫓比物貨輻輳車馬織るが如し第三師團本營、名古屋控訴院其他諸官衙學校諸會社等亦少なからず東海道鐵道は市街の西端笹島に在り

名古屋城 海内無雙の名城にして慶長十五年徳川家康の其子義直を此地に封ずるや前田、兩加藤、福島、細川、黒田、淺野、池田、

鍋島、山内、田中、松平就、寺澤、毛利、稻葉等の諸侯伯に課し天下の全力を竭して城シラカしむる所にして天守閣は加藤清正が特に請ふて一手を以て造營する所に係れり高十餘丈五層の樓あり屋瓦は皆銅カラにして上層の屋頭には有名なる金の鯨シヤウジ一雙を置けり鯨は高八尺五寸胴の周圍七尺三寸黄金一千九百四十枚を熔銷して鑄造したりといふ金色燦爛サンランとして天邊に輝く美觀いふ可らず五層樓の上層は九間四面二百疊、其下層は廿五間四面千疊有餘の大座敷なり閣上より望めば四邊縹緲近國六七州を指點す可し亦是れ無双の絶觀なり

名古屋離宮 名古屋城天守閣即ち是れなり明治廿六年六月を以て帝室御料地に編入し名古屋離宮と改稱せられたり

東本願寺別院 俗に東掛所といふ大谷派本願寺別院なり寺域一萬

五千餘坪堂宇壯麗有名なる大伽藍なり元祿三年の建立にして周圍は繞らすに濠渠を以てし恰かも城郭の觀をなせり

大須觀音 眞言宗にして本尊觀音は大阪四天王寺の聖觀音を摸したる木像なり近傍に諸興行場等多く俗に大須門前と稱する處は飲食店、小間物店、勸工場、寄席其他凡百の商店多く喧嘩熱鬧恰かも東京の淺草、京都の新京極、大阪の千日前と其趣を同ふせり

旭廓 大須觀音の西に在る遊廓なり四方各五町許其最も繁華なるものを花園町といふ

熱田町 名古屋市の東一里人烟相接せり南に港灣を擁して日々數回桑名、四日市、神社港等の伊勢諸港に往復するの漁船あり又魚市場は從來此地の壯觀とす各漁場より頻々輸送し來る鮮魚は日々幾百十艘なるを知らず喧々競賣名古屋を初め美濃、飛騨、信濃の

諸國は概ね供給を此地に仰ぐといふ其盛推して知る可きなり

熱田神社 海内屈指の大社にして祭神五座あり中央を日本武尊とし左右に天照皇大神、素盞鳴尊、宮簀姬命及建稻種命を祭る神躰は草薙の寶劍にして正殿の東土用殿に齋祀す景行帝の五年始めて當地に鎮座し天智帝の御宇一たび皇都に遷されしが天武帝の朱雀元年再び當地に復せられたり社地極めて宏大大小の社祠數十字八方に華表を設け四境に鎮皇、春敲、賀藏の諸門を設く今の社殿は明治二十六年の改造に係れり神威森嚴實に伊勢大廟に亞くの大社たるを窺ふ可し毎年五月五日鎮皇門樓上神幸の式あり盛大なる祭典なり

眞清田神社 當國五大社の一にして一の宮と稱するは即ち是れなり神武帝三十三年の創建にして祭神は國常立尊なり宮殿森嚴境内

眞清田神社 當國五大社の一にして一の宮と稱するは即ち是れなり神武帝三十三年の創建にして祭神は國常立尊なり宮殿森嚴境内

廣潤大小の神祠四方に列し樹木鬱葱たり南面の櫻門を勅額門と名く結構頗る壯麗なり毎年十月十五日大祭を執行す今尙古式を用ひ駒牽こまひきと稱して流鏑やぶらの奉納あり頗る壯觀なり

●三重縣

伊勢、伊賀、志摩の三ヶ國を管せり縣廳は津に在り東海道は近江より來り尾張に通じ其他四日市より山田に至る山田街道、關より津に至る別街道、關より柘植に至る伊賀街道及志摩街道、名張街道、美濃街道、大和街道、紀州街道等あり鐵道は關西鐵道の四日市を起點とし一は江州に入りて東海道鐵道に聯絡し一は桑名に至り尙ほ進んで名古屋に至らんとす支線は龜山より分岐し津に至り參宮鐵道に連絡して宇治山田町に至れり海岸には四日市(特別輸出港)桑名、賢崎、松崎、大淀、神社等二十餘港あり全國土地概ね膏腴就中桑名より宇治

山田に至る廿餘里間の如き沿道一の山なく地味良好を以て世に知らる物産は萬古燒、伊勢蝦、時雨蛤、染形紙、縵子紗等なり

津市 三重縣廳所在の地にして藤堂氏三十五萬石の舊城下なり東は阿漕ヶ浦に臨み賢崎港を擁して參宮街道に當り戸數六千人口三萬餘富商家戸多く商業殷賑なり産物は茄子團扇、縵子、杓子餅、紙、縮木綿等なり

津公園 藤堂家の舊別莊なりしが維新後大に荒蕪に屬せしを明治十年官に稟して公園とす園は丘陵の上に在りて安濃川に枕む園の東隅に高山神社あり藤堂高虎を祭れり其他廣明館、博物館、象觀亭、省耕臺等あり山水の風色最も佳絶なり

阿漕ヶ浦 津市の北津與村の海濱一帯をいふ青松白砂相映帶し風光甚だ明媚なり

結城神社 別格官幣社、南朝の忠臣結城宗廣の靈を祭る一志郡藤

水村字藤方に在り

專修寺 眞宗高田派の本山にして一身田に在り津を去る一里一心

田停車場より數丁なり當寺は嘉祿二年宗祖親鸞上人下野國芳賀郡大内庄柳島の地に草創し後堀河帝寺號を專修阿彌陀寺と賜ひ勅願所とす寛正六年今の地に移れり境内宏大伽藍莊麗なり菩提樹、枝垂柳等上人の遺跡あり

松阪 津市と宇治山田町の中間に在り運輸至便交通四達之地にして富豪櫓を接し商業の殷賑津市に譲らず名産は松阪木綿、鬘附、梳油等なり松阪公園あり往古に四五百の森と稱せし地にして松阪城の舊址なり

宇治山田町 古來我邦の宗廟たる内外兩宮の御鎮座まします所の

神聖の靈地なるを以て全國上下貴賤の參拜するもの絶ゆることなく又志學、大和、紀伊の各街道に當り東北に神社港を要し運輸至便交通頻繁なるを以て市街殷賑商業繁盛なり戸數五千八百人口凡三萬あり宮川の東畔に位し尾阪部以西を宇治といひ同以東を山田と稱し相合して宇治山田町といふ遊廓を古市といふ古來有名なる花街なり名産は山田細工、春慶塗、宮本箆、篠笛、傘、紙蓑入等なり

豐受大神宮 外宮と稱し奉る本殿には豐受大神を祭り瓊々杵尊、天兒屋命、天太玉命を配祀す雄略帝二十二年七月の創建にて内宮に後る、と四百八十二年なり多賀宮、土宮、月讀宮、風宮之を四所の宮と稱す其他攝社十六座末社八座あり宮域八十一町步重なる建物は神庫、九丈殿、五丈殿、遙拜所、第四御門、第三御門、審垣御

門、玉串御門、瑞垣御門、東寶殿、西寶殿、正殿、御裏御門、外幣殿、御饌殿、内宮遙拜所、子良齋殿等にして毎二十一年遷宮式を行はせられ歴朝の御崇敬内宮に異なることなしといふ之に接續する神苑は其面積一萬五千餘歩あり

皇太神宮 内宮と稱し奉る外宮より一里五十鈴の川上に鎮座す皇室の大廟にして天照皇太神を奉祭し天手力雄命、萬豐秋津師姫を合祀す崇神帝の御宇に至る迄は宮中に奉祀せられしかど其神威を襲瀆さんとを恐れ大和國笠縫の里に移し奉りしを垂仁帝の廿二年倭姫命神勅を受けて祠を五十鈴川の川上に建てたまふ今に至る迄實に千九百餘年なり御神躰は八咫の御鏡にして歴朝の御崇敬は申迄もなく日本臣民たるもの上下貴賤となく御神徳を仰き奉らざるはなく外國民に至るまで神威に服せざるなし別宮を荒祭宮、月讀

宮、月讀荒御魂宮、伊佐奈岐宮、伊佐奈瀨宮、瀧原宮、瀧原並宮、伊雜宮、風日所宮と稱し攝社二十五座末社十六座あり宮域六十七町餘重なる建物は時雍館、一殿、串貴殿、酒殿、忌火屋殿、板垣御門、玉垣御門、四丈殿、玉串御門、正殿、東寶殿、西寶殿、外幣殿等あり之に附屬する神苑は九千三百六十餘坪あり御遷宮は天武帝の二年始めて其御式を定められ爾后每二十一年に此御式を舉行せらる明治維新後一時其御式を略せられしが明治二十二年再び廢れたる舊典を興させられ嚴かに御遷宮式を舉行せられたり東南の丘陵を神路山といひ老杉巨楡蔚然として五十鈴川其麓を繞り神聖無二の靈場たり

朝熊山 伊勢志摩の州界にして宇治山田町より東二里に在る名山なり直立一千七百尺伊勢海を隔て、尾、參、遠の諸嶽より遠くは

駿河の富士山を望み風光眞に畫くに似たり山頂に金剛證寺あり寺に源義朝の太刀、徳川家康の碁盤等を藏す奥に香海庵、富士見臺等の勝地あり山麓朝熊村に朝熊神社あり又鏡宮あり風光愛す可し山中數軒の旅店あり

二見の浦 一名を蓋見浦又二見瀧と稱す山田を去ること二里音無山を負ふて伊勢灣に臨み海邊には危岩性礁起伏し著名の二ツ岩は海岸を隔つる數間の處に在り其の大なるものは高二丈九尺小なるものは高十二尺二岩相去る三間許其狀門關をなすに似たり其色蒼黒にして木理紋をなす常に注連を張りて之を祭れり此地風光明媚天下の絶勝と稱す參宮の客來遊せざる者なし賓日館あり貴賓の休泊に供す又海水浴場あり潮水清潔にして夏日の冷浴游泳に適せり

京都名勝案内記附聯合府縣終

明治二十八年三月二十五日印刷
明治二十八年四月三日發行

定價金四拾錢

編纂者 金森直次郎

發行者 西脇正信

京都府葛野郡花園村字花園第三十五番戶

發行者 飯田壽十郎

京都市下京區寺町通五條上ル西橋詰町第五十九番戶

印刷者 愛敬利世

東京市京橋區四紺屋町廿六七番地

印刷所 鐵秀英舍

東京市京橋區四紺屋町廿六七番地



發兌元

京都市寺町通五條上ル町

飯田信文堂

高松宮脇開益堂	奈良宮脇開益堂	岐阜太田支店	大津川島九右衛門	津島積善館支店	岡山武内彌三郎	神戸船山堂	名古屋川瀬代助	全中村翠雄	全吉岡平助	大坂盛文館	全信文堂出張店	全文林堂	京都東枝律書房	全哲學書院	全東京書堂	東京博文館			
全八尾新助	全大倉書店	全東京海堂	全中村館美堂	全岡本仙助	全松村九兵衛	全坂岡島真七	全川勝徳次郎	全便利直三郎	全山田直三郎	全下村米吉	全法藏館	全興敬書院	全大黒屋	全五車樓	全村上勤兵衛	全田中治兵衛	全大谷仁兵衛	京都臨井源次郎	全敬業社
大津淡海堂	全根高田日進堂	全福知山小林權太	全宮津難波庄兵衛	全小津吉岡正太郎	全足利商友舎	全山中大橋甚吾	全高岡學海堂	全金澤雲根堂	全小松改進堂	全福井品川太右衛門	全大津東枝支店	全廣島早速舎	全尾道文明堂	全全春陽堂	全全嵩山堂	全全敬業社	全全東京三省堂		

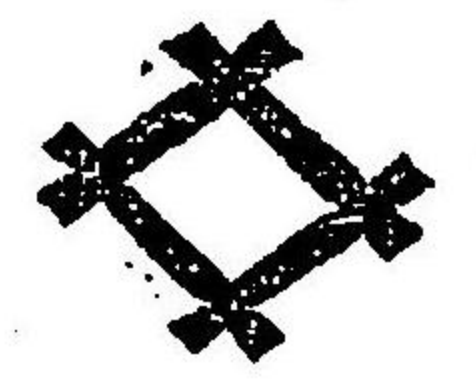
大 販 賣 所

販 賣 所

此所にて一寸諸國より御來京の諸君子のため御披露申上度候
 我が京都にありて有名無比の京菓子商と申候は則ち姉小路
 通車屋町角龜屋末廣といふ老舗に御座候該家
 にて販賣候處の製菓たるや専ら衛生上無害に注意を加へ殊更
 滋養となるべき物品而已を相用候が故春は都の花の踊りくわ
 し意匠にはヨイヤサーアの拍手をうけ暑さきびしき夏の日
 は煙花空の一杯に肌身の涼しさをおぼへ秋の紅葉のはや染は
 煎抹茶人に咽をならさし音に高き木がらしより冬は雪見の東
 山四季いろくの花盡し味ひ給ひ食し給ひめせばたちまち千
 どせの齡根延の松や萬年柿と賞讃され世にも稀なる人參煎餅
 御國土産は此上の益寶さらしに御坐あるまじく候はんとそのた
 め風聽あらく菓子喰



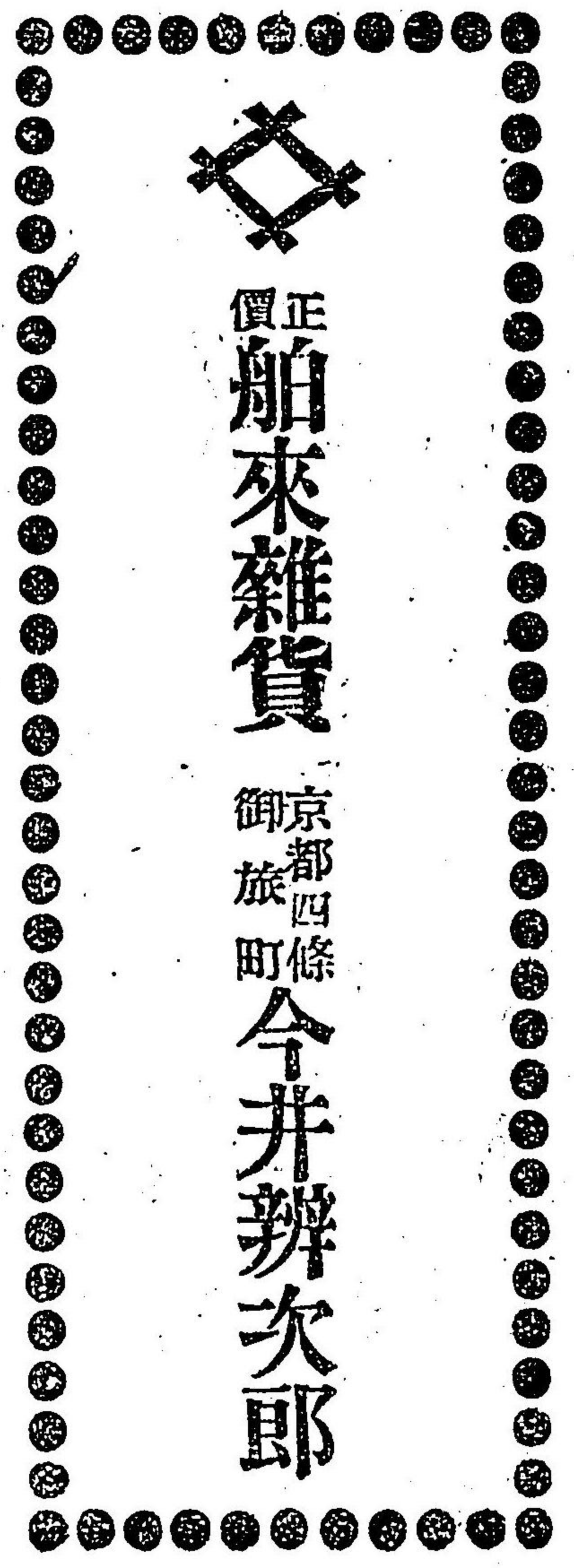
瓶詰高尚



正舶來雜貨

京都四條
御旅町

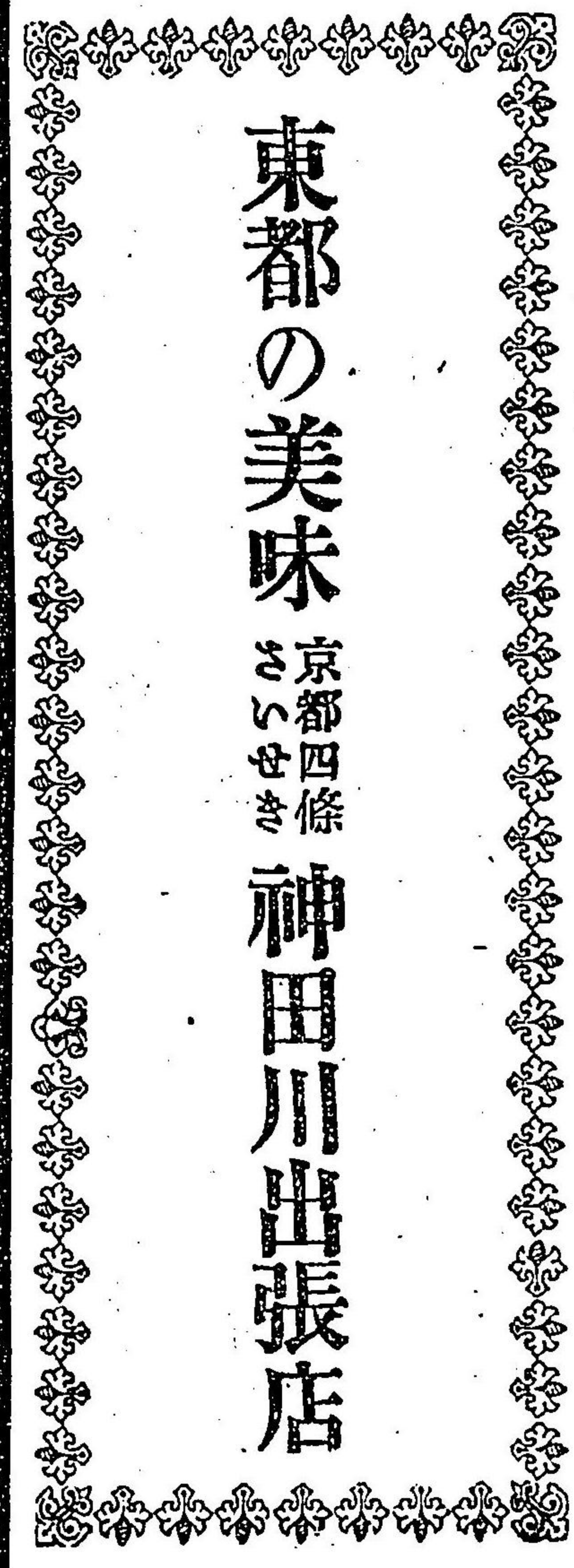
今井辨次郎



東都の美味

京都四條
とせき

神田川出張店



清 酒



伏見屋は
清酒瓶詰
の元祖に
して到る
所に販賣
店あり

京都市姉小路通車屋町

伏見屋酒店

京都市蛸薬師通御幸町角

伏見屋代理店

京都市四條通柳馬場東入

伏見屋支店

京都市仁王門通疏水運河

新道角

伏見屋出張店

博覽會
開設中

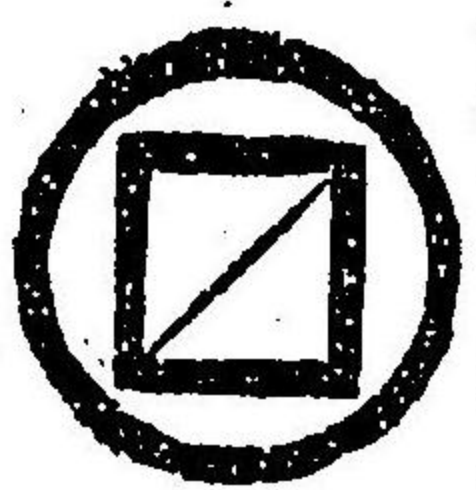
京都本店ノ業務

○染吳服悉皆商

○仙台㊟機織場製品仙台平袴地關西一手販賣

京都本店 京都市上京區柳馬場三條上ノ

京吳服問屋



市田彌一郎

東京販賣店

東京市日本橋區大門通田所町

(電話千六百九十八番)

東京販賣店取扱商品目錄

縮 緬 類	友 仙 類	帶地織物類
四陣織物類	染 絹 類	染石持類
鹿の子絞り類	縫 襖 樣 物 類	此外京吳服一切



南禪寺
松林

瓢亭

歐米各國雜貨

東京小間物類

さまや製楊枝齒み
かき

笠仙浴衣地

はかま腰帶いろく

金銀諸細工物

京都市四條通御幸町
西入

丁子屋專

土田商店

○當工場之光榮

皇太后宮陛下
露國皇太子殿下
希臘皇太子殿下

御臨場

宮露

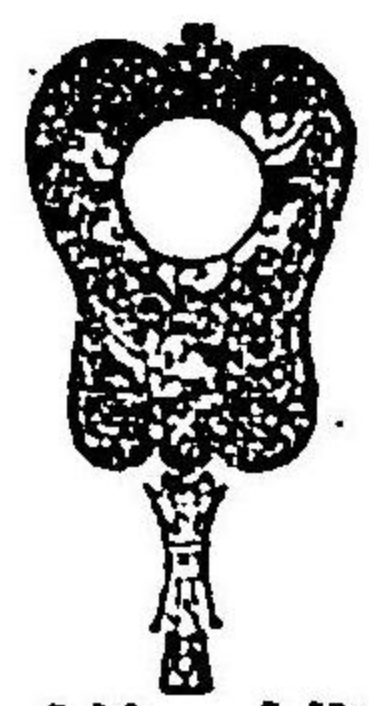
內西

省亞

登錄

京都

各種女帶地



摸樣 婦人洋服地

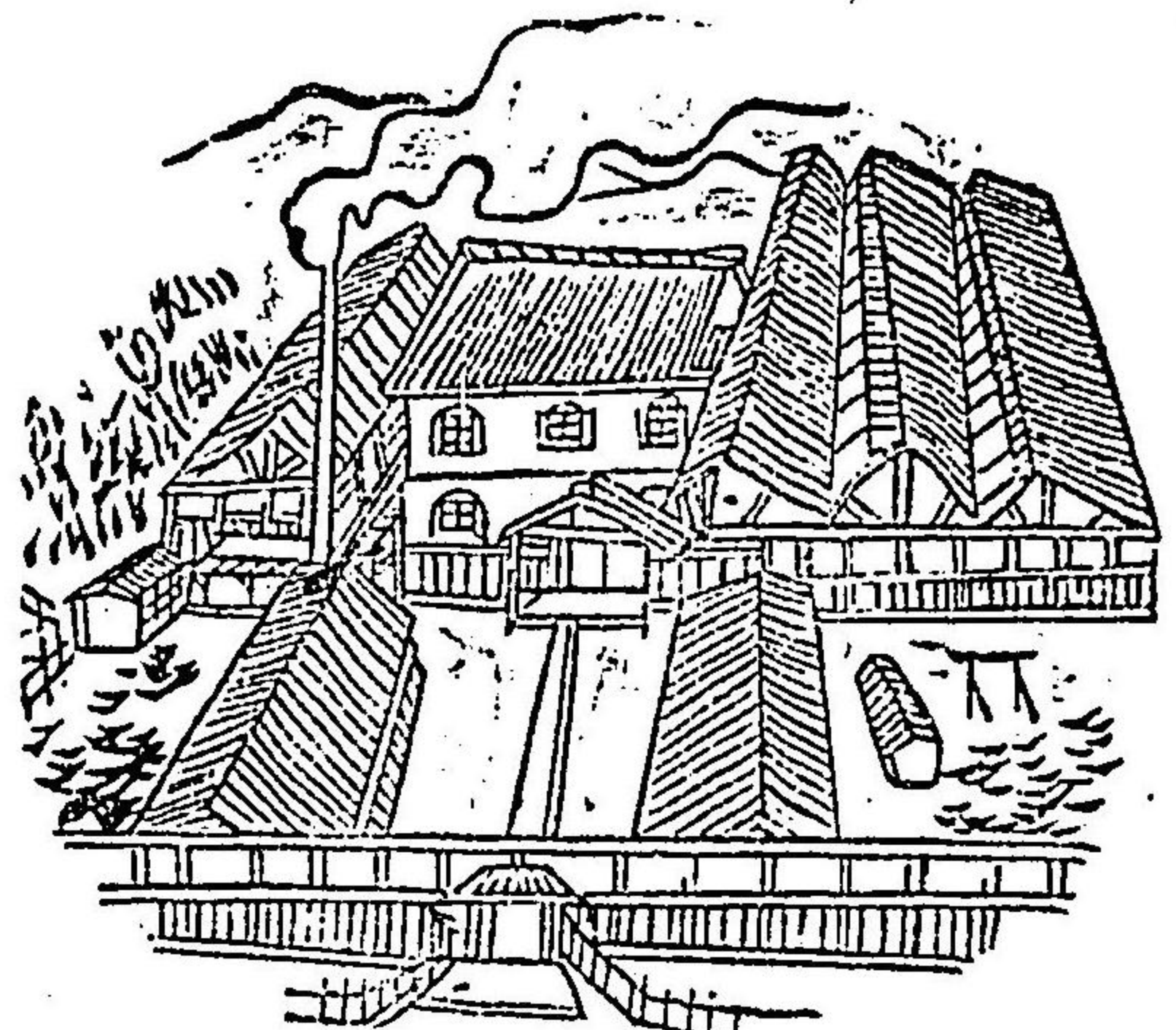
商標

川島

御物 室內裝飾地 其外

用用

達達



京都東堀川一條

川島織場

販賣所

東京市京橋區錦屋町拾五番地上田屋商店

○美術部

綴錦、美術織物、各種

旅宿 岡崎和助

倭屋事

京都市蘇屋町通姉小路上ノ東側

旅宿 若大谷健造

若彦事

京都市蘇屋町通御池北之入東側

30

備後名産十六味地黃保命酒の起源は備後尾道にありとす

此酒は備後第一の名産にして其起源は實に余祖先甚左衛門義久今を去ると五百六十九年前嘉慶醴酒釀造法を改良し焼酎を以て元水にかへ一種甘美にして且久きに堪るの靈酒を發明し補血健胃の地黃麥門冬茴香等十六味の藥劑を加へ稱して十六味地黃保命酒といひ我尾道に開業せるに據る爾後今日迄一系連續其業を繼續せり近來に至り衛生の必要を感し釀造法を改良し且健胃補血の特功あるヘアシチ。規那。林檎鐵等を加へ甘美芳香にして健胃補血の特功ある日本唯一の靈酒を釀造せり○此酒は幾年を経るも更に腐敗するとなきにより年數請合の證明をなし發賣す

備後尾道町字土堂

板屋 十八世 島居熹右衛門清方



標

本社 東京 工場 桐生

子 織 姫 織



社 會 式 株 物 織 本 日 元 造 製

販賣所は全國各地にあり

商標

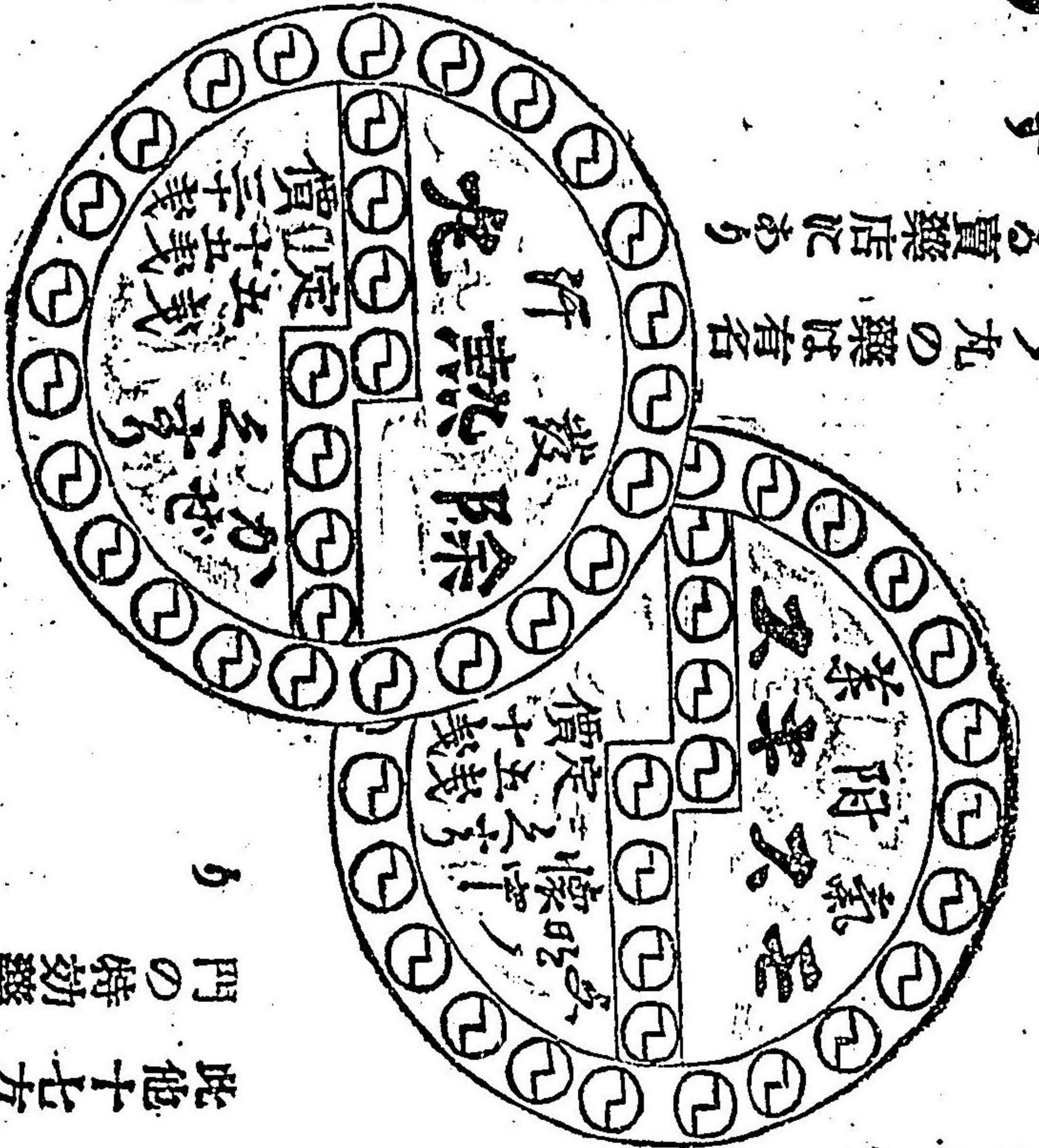
小水經

附屬品

京都府四條通寺町西入
小水經本舖
經屋字兵衛

陸軍各師團御用藥
陸軍少將總監 松本順先生方劑
陸軍一等藥劑官 町田伸先生配劑
醫學士正七位 藥學士正七位

此他十七方專
門の特効藥あり



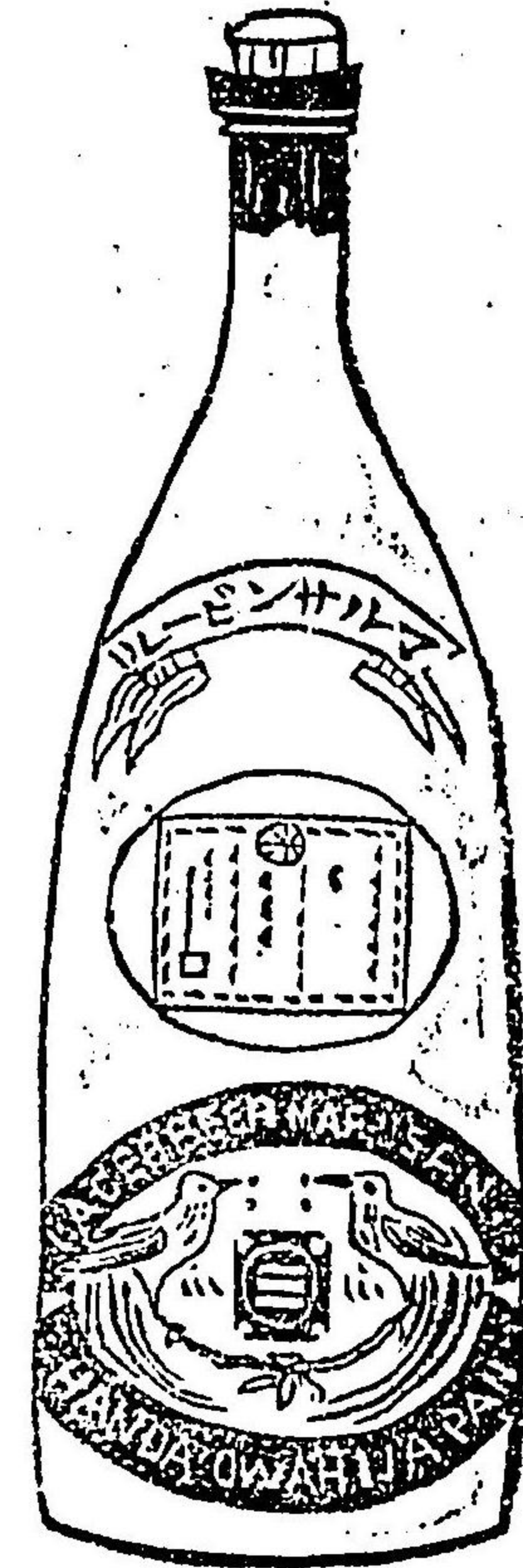
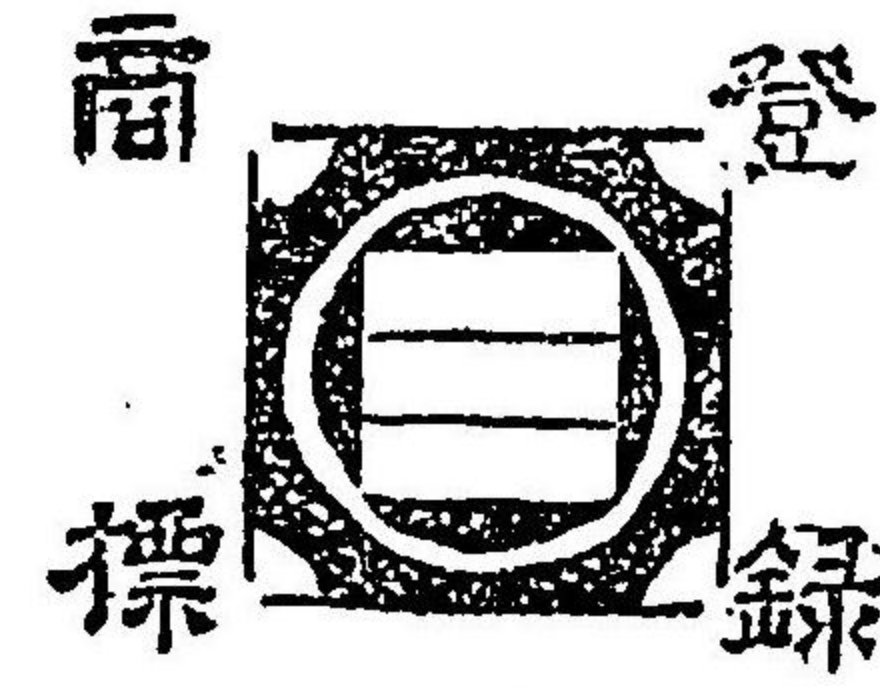
日ノ丸の藥は有名
なる賣藥店にあり
ます

代理店 日ノ丸製劑株式会社
京都府新町四條南入
岡島長生堂

りあ所懸休に内場會覽博大四第

芳香佳味醇良無比
大婚式 歐納

マルサンビール



釀造元 尾州半田町丸三麥酒釀造所

發賣元

大坂北郷 江二丁目
京都新町 四條南人
尾州半田 尾頭阪

丸三支店 岡島卯三郎
丸三代理店

東京豊岸 島富島町
駿河國 沼津町
全水國 清水町

中井商店 中埜酒店
中埜支店

御用 宮内省

御菓子菓御

側南入へ東宮大通川出今都京

鹽路軒

會席

御料理

京都木屋町 三條北へ入
上生洲
いけ龜

京菓子所

並に珈琲糖販賣

京都市三條通堺町東入

八幡家千瑞堂

會席御料理

此外海川魚御料理御好に應ず

弊樓は東山の麓にして其風景四季共に佳絶なれば月に花に又た雪中陸しき友垣と酒酌かはすは此上なき愉快ならまし願くは江湖の諸君子友垣御誘合され賑々敷御來車の程仰き申すになん

疎水インク
ライソソ
第一樓



瀛車廣告之元祖

商友舍

下野國足利町

◎商友舍は我國に於る汽車廣告業の元祖なり

◎商友舍は兩毛鐵道及び日光山の電柱柱廣告を一手に取扱ふ

◎商友舍は東洋の壯觀日光山の電柱利用の開祖なり

◎商友舍は下野國足利町停車場前にあり

◎商友舍の細則は御申越次第送呈すへし

大日本帝國陸軍御用達

醬油キス一名

便利醬油

便利醬油ノ義ハ幾何年ヲ經ルモ腐敗等ノ患ヒ更ニナシ衛生上無害有効ナリ用法ハ量目貳百目ヲ以テ普通ノ壹升九合以上ニ相當ス諸物煮ルル其儘用スレハ速ニ溶解スルコト砂糖ヲ用ユルカ如シ亦温湯冷水等壹升八合混合スレバ普通醬油壹升九合ニ同シ



商標

京都市元誓願寺油小路西入
川橋鐵之助製

旅宿

京都三條大橋東詰北角
茶屋久右衛門

京都足袋
商工組合員

安田宇商店營業種目

紳士の
大喝采
の實用家
の好評

京都足袋

足袋地木綿本場青縞松本行田名古屋織底備前
大阪雲齋紀州泉州片毛紋羽卸賣問屋

河

意匠及び
美術部

足袋取繼京極

あづまや雜貨店

下京區三條通河原町西入
河内屋號 安田宇兵衛



洋法
入歯
陶器

●金銀臺

●護謨臺

●セルロイド臺

●鯛歯ハ金銀ゴーム等

ヲ以テ充填ス

京都二條通堺町東へ入

北側

齒科
重倉

診察所

官工御墨所

古梅園製墨

松井元淳



本廬
奈良橋井町
松井元淳

支店
京都寺町通二條上ル
大阪心齋橋通南久寶寺町
東京日本橋通壹丁目

旅館

瀬戸内海の絶景を一望

に收め極めて壯絶快絶

なり

厦屋は新築にして清雅

宏潔なり

待遇の親切なるは本館

固有の獨得にして夙に

世人の知る所なり

備後尾道停車場前

鶴水館

同所

待合所

●内外國向美術友禪製造

京都新町通四條

南入岡嶋卯二郎製造の友禪は積年苦心の効空しからず圖樣配
色共に佳良なりと需用者日に月に加り内外國の注文積んで山
の如く又た各地博覽會及び共進會に出品しては賞牌褒狀受けさ
る無く實に非常の歡迎を受つゝあり

●名祖古刹の舊觀を損ぜざらん爲め競争入札の工事は一切謝絶

宮殿堂閣
専門屋根工

池田直次郎
〔京都新橋木町〕
〔竹屋町北エ入〕

◎坪敷を申越されれば直に明細なる見積書を郵送すべし
◎些少の工事たりとも懇切丁寧而かも迅速に施工すべし

●弊家の檜皮屋根等は費額小にして美麗且つ堅牢之れ天下無類

御菓子司
勸業博覽會出品
京都都
藥師通
及
休憩所
角
則
良
龜



第四回内國勸業博覽會は京都に於て開かれ弊店製する所の京菓子は一特有名産にして其調和宜しく甘味能くして攝生を助け其形體は千異萬狀なれども要するに視神を喜ばしむる美術の思想を基として之を作るが爲め注文日毎店頭に群集し四方の愛顧一方ならず此度の會場へは其精華を撰みて出品せり入場の諸君一覽の榮を賜はらば幸尤も甚し且つ平常の愛顧に酬ん爲め場内の一地に於て休憩所を構ふ構造は桂離宮の御建物一二を模倣し瀟洒閑雅遙に敵峰を眺望し尤も佳景の地たれば疲勞の休息には適當せり一憩茶菓を喫し給はん事を請ふ

休憩所は工藝館東出口の中央路にして出品の同種及び其他の品種を備へて購客の便にす

●●●●●信文堂廣告●●●●●

京都名勝案内記

附聯合府縣

小川一真寫真銅版九拾餘枚
挿入至極美本〇一冊正價上
綴四拾錢、假綴三拾錢

近來續刊せる案内記及び其類似のもの多くは坊間流布の板本に材料
を徴し陳腐迂遠にして眞事實に反し粗漏杜撰にして價値なきを慨し
一々實地に就て材料を蒐め今回編纂したるものなれば實に完美無缺
にして記事精良と定價低廉は其比を見ざる所なり

京都名勝圖繪

精巧美麗なる小川一真寫真銅版七十八景
全四枚〇一枚正價金拾錢

平安神宮圖繪

同上寫真銅版一枚正價金拾錢

第四回内國勸業大博覽會圖繪

同上

佛教大難論

中西
牛郎著

全一冊

正價五拾錢

宗教革命論

中西
牛郎著

全一冊

正價五拾錢

字々皆な熱血而も行文平易にして流暢絶て生硬齷牙の嫌なく讀者の
頭腦を苦しましむる事なし世の宗教家の筆と同一視する事勿れ

增補
訂正 獨尊子

鈴木
天眼著

全一冊

正價三拾錢

活 青 年

同 著

全一冊

正價二拾錢

鈴木天眼は善く世を諷し人を罵るの士なり其論痛快激切鑿々肯綮に
中り筆端縱横生氣勃勃々文字紙上に躍る

執事渥美契縁師及南條博士序文

日本名家詩集

全一冊

中井櫻洲巖谷一六小野湖山等諸
大家題字序文〇正價金拾五錢

古今名家詩選

全一冊

中井弘君題字 正價金拾錢

東京博文館圖書特別大賣捌所

同哲學書院圖書特別大賣捌所

全國諸雜誌特別大賣捌所

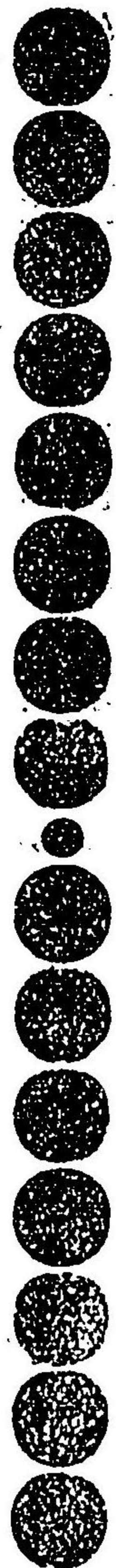
内閣官報局
御編纂 法令全書取次所

萬國法律書專賣所

京都名勝案内記發行所

●京都市寺町通
五條上ル町

飯田信文堂



●皮膚病科

院長小笠原大威の専門にして其治療に於ては我國の醫師は勿論歐米の諸大家と雖も大に苦しむ所なるが本院長は多年の實驗

により唯一適應の薬いんきん。たむし。はたけ。かゆがり。にきび。ひぜん。なまぎ。かんかき。わきが。毛のぬける病。そばかす。ほろせ。しらくも。とびひ。くも。ひげくさ。さくる鼻。みんずばれ。あぶら手。あぶら足。けむらみ。りん病。梅毒等を始め其他皮膚に發したる病は何程も

●らい病

は殊に世間無比の新療法を施し数年の治療中未だ一人の全治せざる者なきは數千名の全治者の能く知る所なれども若し狐疑ある者には

治療の保證書を附與して治療す
●今橋本病院診察時間●毎日早天より日没まで●年中休日なし●一六日に限り早天より正十
一時限り

大阪市東區
今橋一丁目

小笠原本院

●院長毎一六の日出張

●出張所診察時間●午後三時より八時まで●入院照
會は越て本院宛●定日外診察投薬せず

京都東洞院
四條上ル

小笠原病院出張所

●左記の支院は今建築中にして來廿九年一月より開院の見込なり

大阪東成郡天
王寺村字國分

小笠原第一支病院

保 險 生 命



入北川夷通町堺市都京

京都生命保險株式會社

● 本社は京都府下重要物産七組合の工業發達の目的を以て組織す
 ● 本社は終身。養老。定期。年金。修業。養育等の保險を爲す
 ● 本社の保險料は衡平を主とし何人に限らず何業務を問はず保險料に差異なく其拂込方は年掛。半年掛。三月掛。月掛の内契約人の便宜により隨意たるべし

顧問醫

馬齋 藤仙 則也

● 本社は工業修業者の便宜を計り保險金額拾圓より契約す
 ● 本社は日曜日と雖も申込を受け毎日体格診查を爲し又申込人の望により何時にても請求の場所に付き出張診查の契約すべし

HATSUGAI HOTEL



明治二十一年創立 初谷新聞縦覽所

● 足利は織物の産地にして戸數三千六百人 口一萬七千あり、足利學校、大日如來、朽木縣工業學校、織物市場、織物工場等は最も觀るべきものなり其他名勝市の内外に散在せり
 ● はつかい支店には諸新聞縦覽所及び廣告掲示場あり御遠慮なく御利用せらるべし
 ● 同業者の中に車夫に金錢を與へ客を誘引する惡風あり御注意被下べし

仙臺平袴地
仙臺織物

仙臺支店より内國

博覽會へ出品致置

候「仙臺平袴地」其

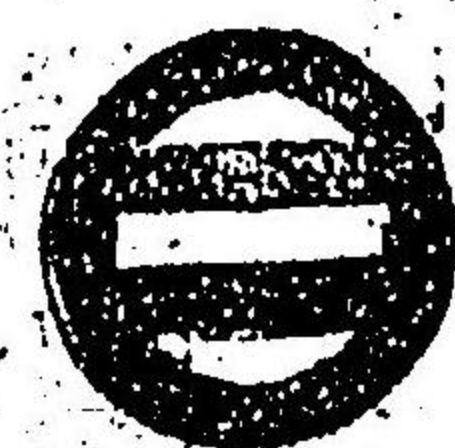
他「仙臺織物」當地

本店に於て販賣仕

候間御用被仰附度

候也

通條四都京

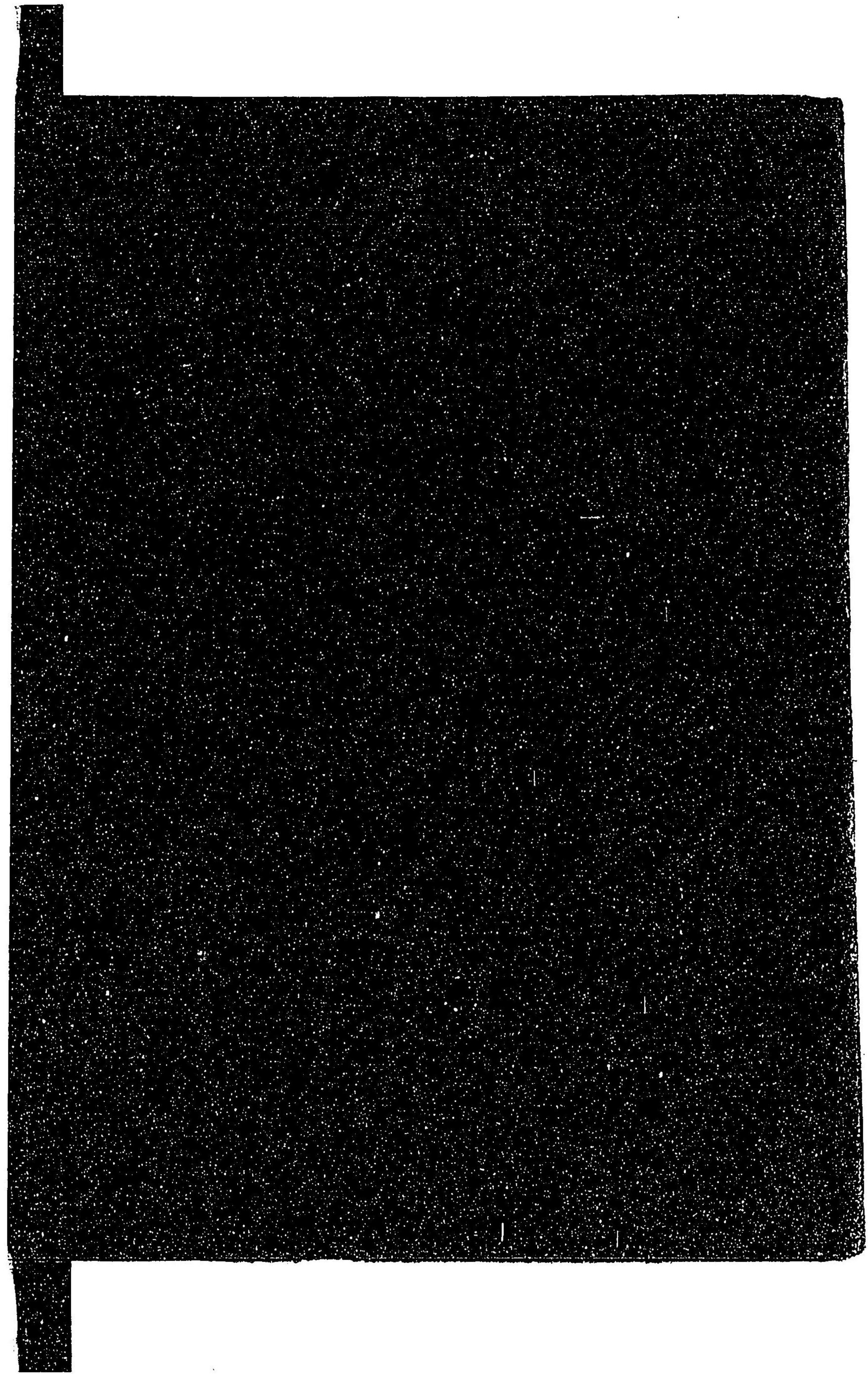


入西町屋鉄

奈 岩
良 井
屋 兵
衛

71
290





71
290

025376-000-3

71-290

京都名勝案内記

金森 直次郎 / 著

M28

ADC-2818



15.8.14